

付録 I

「島原市全域の復興・
振興に関するアンケート調査」

単純集計

1. お住まいの地区の状況と災害時の状況をお教えてください。

問1 あなたの現在お住まいの住宅地は次のどれに当たりますか。

N=586人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 古くからの集落	394	67.2
(2) 新興住宅地	127	21.7
(3) 噴火災害後の住宅地	28	4.8
(4) わからない	27	4.6
(5) N. A.	9	1.5
(6) N. G.	1	0.2

問2 あなたがお住まいの地域は主として次のどれに当たると考えますか。

N=586人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 住宅地域	385	65.7
(2) 工業地域	5	0.8
(3) 農業地域	115	19.6
(4) 商業地域	61	10.4
(5) その他	8	1.4
(6) N. A.	7	1.2
(7) N. G.	5	0.9

問3 あなたはお住まいの地域の町内会に加入していますか。

N=586人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) はい	539	92.0
(2) いいえ	43	7.3
(3) N. A.	4	0.7

問4 あなたは町内会行事にどの程度参加しますか。

N=586人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 毎回参加する	152	25.9
(2) よく参加する	166	28.3
(3) 時々参加する	152	26.0
(4) めったに参加しない	101	17.2
(5) N. A.	15	2.6

問5 噴火継続中（平成2年から7年）から島原にお住まいでしたか。

N=586人

項目	人数（人）	(%)
(1) はい	502	85.7
(2) いいえ	76	13.0
(3) N. A.	8	1.3

問6 噴火継続中にあなたのお宅は規制を受けましたか。

N=502人

項目	人数（人）	(%)
(1) 警戒区域に含まれた	38	7.5
(2) 警戒区域と避難勧告地域の両方に含まれた	34	6.8
(3) 避難勧告地域に含まれた	35	7.0
(4) 規制を受けなかった	389	77.5
(5) N. A.	5	1.0
(6) N. G.	1	0.2

問7 あなたのお宅では噴火中に避難しましたか。

N=502人

項目	人数（人）	(%)
(1) はい	157	31.3
(2) いいえ	335	66.7
(3) N. A.	10	2.0

問8 あなたのお宅ではどんな被害を受けましたか。次の中からいくつでもお選び下さい。

N=502人（複数回答）

項目	人数（人）	(%)
(1) 農作物、商品などが降灰による被害を受けた	86	17.1
(2) 買物客・観光客の島原離れによる売上げ減などの間接被害を受けた	68	13.5
(3) 田畑、山林が被害を受けた	43	8.6
(4) 家屋や田畑などに立ち入れないことによる被害を受けた	40	8.0
(5) 家屋が全半壊した	23	4.6
(6) 店舗や商品などが被害を受けた	13	2.6
(7) 漁場が被害を受けた	12	2.4
(8) 家畜が被害を受けた	5	1.0
(9) その他	128	25.5
(10) 被害を受けなかった	175	34.9
(11) N. A.	19	3.8

問9 噴火前に住んでいた住宅は次のどれに当たりますか。

N=502人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 持ち家	402	80.1
(2) 借家	66	13.1
(3) 公営住宅	14	2.8
(4) その他	6	1.2
(5) N. A.	14	2.8

問10 現在住んでいる住宅は次のどれに当たりますか。

N=502人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 噴火前の家	382	76.1
(2) 噴火後に新築された公営住宅	10	2.0
(3) 噴火後に造成された被災者用住宅団地に新築した家	4	0.8
(4) 噴火後に個人で土地を入手して新築した家	42	8.3
(5) 噴火後に借りた家	16	3.2
(6) その他	38	7.6
(7) N. A.	10	2.0

2. 島原での生活についてお伺いします。

問1 あなたはこれからも島原に住み続けたいですか。

N=586人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) はい	543	92.7
(2) いいえ	34	5.8
(3) N. A.	9	1.5

問2 あなたのお宅では生活は噴火前と比べて噴火中にはどう変わりましたか。

N=586人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 楽になった	8	1.4
(2) 変わらない	346	59.0
(3) 少し苦しくなった	96	16.4
(4) かなり苦しくなった	53	9.1
(5) 非常に苦しくなった	20	3.4
(6) 噴火前に島原に住んでいなかったため該当しない	44	7.5
(7) N. A.	19	3.2

付問2. 1 噴火が終息して6年経過しましたが、現在はhowですか。

N=169人

項目	人数(人)	(%)
(1) 回復して噴火前に戻った	36	21.3
(2) 回復して噴火前より楽になった	3	1.8
(3) 回復したが前に戻るまでにはなっていない	75	44.4
(4) 回復していない(そのままである)	22	13.0
(5) 回復するどころかかえって苦しくなっている	29	17.1
(6) N. A.	4	2.4

問3 現在の島原市における生活についてお伺いします。現在の生活で不便や不満に思っていることは何ですか。次の中からいくつでもお選び下さい。

N=586人(複数回答)

項目	人数(人)	(%)
(1) 交通の便	229	39.1
(2) 収入	198	33.8
(3) 仕事	185	31.6
(4) 都市下水・排水処理	153	26.1
(5) 健康・医療	132	22.5
(6) 買物	80	13.7
(7) 高齢者福祉	78	13.3
(8) 人間関係	51	8.7
(8) 駐車場	51	8.7
(10) 子供の教育	47	8.0
(11) 文化活動	46	7.8
(12) スポーツ・レクリエーション	37	6.3
(13) 住宅	35	6.0
(13) 騒音	35	6.0
(15) 情報の入手	32	5.5
(15) 生涯学習	32	5.5
(17) 交通安全	29	4.9
(18) 衛生	27	4.6
(19) プライバシー	20	3.4
(20) 災害	10	1.7
(21) その他	31	5.3
(22) N. A.	55	9.4

3. まちづくりについてお伺いします。

問1 島原市のシンボルとして何が最もふさわしいと思いますか。

N=468^(※)人

項 目	人数(人)	(%)
(1) 島原城	178	38.0
(2) 湧水	158	33.8
(3) 普賢岳(平成新山)	87	18.6
(4) 緑	9	1.9
(4) 武家屋敷	9	1.9
(6) 砂防ダム、導流堤などの防災施設	5	1.1
(7) 水無川下流域(安中地区)	3	0.6
(8) 白土湖	2	0.4
(9) その他	4	0.9
(10) N. A.	13	2.8

(※):有効回答のみ集計

問2 島原市では公共下水道の建設計画が昭和55年に策定されています。まだ実施計画は策定されていません。今後、下水道の整備を含めた汚水処理施設についてどのように考えますか。

N=586人

項 目	人数(人)	(%)
(1) 必要である	517	88.2
(2) 必要でない	32	5.5
(3) N. A.	37	6.3

付問2. 1 あなたのお住まいの地区ではどのような汚水処理施設が望ましいとお考えですか。

N=517人

項 目	人数(人)	(%)
(1) 公共下水道	355	68.7
(2) 合併浄化槽	102	19.7
(3) 農村集落排水施設	31	6.0
(4) その他	6	1.2
(5) N. A.	15	2.9
(6) N. G.	8	1.5

問4 島原市の水源は地下水に依存しています。噴火継続中は地下水源について心配されましたが、現時点で水源についてあなたはどのように思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 大丈夫である	324	55.3
(2) 心配である	240	41.0
(3) N. A.	22	3.7

問5 島原市の人口は、昭和60年の46,061人から平成2年の44,828人とゆるやかに減少していたが、平成7年には40,778人と噴火災害の影響を受けて大幅に減少しました。平成12年には、39,605人と4万人を割り込んでいます。島原市の人口は今後どうなると思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 平成2年の人口に戻る	10	1.7
(2) 昭和60年の人口に戻る	6	1.0
(3) 平成12年の人口が当分続く	176	30.0
(4) 人口はそのまま減少し続ける	379	64.7
(5) N. A.	15	2.6

問6 島原市全域の都市イメージとしてどれが最もふさわしいと思っていますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 観光保養都市	294	50.2
(2) 国民公園都市(現行の市勢振興計画の目指す都市像)	101	17.2
(3) 田園都市	57	9.7
(4) 住宅都市	36	6.1
(5) 商業都市	28	4.8
(6) 工業都市	12	2.1
(7) その他	18	3.1
(8) N. A.	30	5.1
(9) N. G.	10	1.7

問7 噴火災害によって次に示す島原市に関する事業はさらに進んだと思いますか、それとも停滞したと思いますか。(a)~(r)の各項目すべてにお答え下さい。

N=586人

(a) 地域高規格道路(高速道路)の整備

項目	人数(人)	(%)
(1) 進んだ	336	57.3
(2) 無関係	103	17.6
(3) 停滞した	91	15.5
(4) N. A.	56	9.6

(b) 都市計画道路の整備(三会長池線など)

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	357	60.9
(2) 無関係	84	14.3
(3) 停滞した	83	14.2
(4) N. A.	62	10.6

(c) 大手川の改修

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	428	73.0
(2) 無関係	85	14.5
(3) 停滞した	28	4.8
(4) N. A.	45	7.7

(d) 眉山の治山対策

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	372	63.5
(2) 無関係	103	17.6
(3) 停滞した	56	9.6
(4) N. A.	53	9.0
(5) N. G.	2	0.3

(e) 中心市街地の再開発

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	61	10.4
(2) 無関係	123	21.0
(3) 停滞した	347	59.2
(4) N. A.	54	9.2
(5) N. G.	1	0.2

(f) 観光資源の開拓

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	158	27.0
(2) 無関係	134	22.9
(3) 停滞した	233	39.7
(4) N. A.	60	10.2
(5) N. G.	1	0.2

(g) 公営住宅の整備

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	255	43.5
(2) 無関係	169	28.8
(3) 停滞した	104	17.8
(4) N. A.	54	9.2
(5) N. G.	4	0.7

(h) 自主防災組織

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	284	48.5
(2) 無関係	139	23.7
(3) 停滞した	99	16.9
(4) N. A.	58	9.9
(5) N. G.	6	1.0

(i) 近隣との人間関係

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	128	21.9
(2) 無関係	279	47.6
(3) 停滞した	119	20.3
(4) N. A.	57	9.7
(5) N. G.	3	0.5

(j) 農業の施設化

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	189	32.3
(2) 無関係	254	43.3
(3) 停滞した	80	13.7
(4) N. A.	61	10.4
(5) N. G.	2	0.3

(k) 水産業対策

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	54	9.2
(2) 無関係	251	42.8
(3) 停滞した	221	37.7
(4) N. A.	59	10.1
(5) N. G.	1	0.2

(1) 企業の誘致

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	15	2.6
(2) 無関係	162	27.6
(3) 停滞した	350	59.7
(4) N. A.	59	10.1

(m) 水資源の保全と水の有効利用

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	118	20.1
(2) 無関係	187	31.9
(3) 停滞した	215	36.7
(4) N. A.	64	10.9
(5) N. G.	2	0.4

(n) 下水道などの汚水処理施設の整備

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	52	8.9
(2) 無関係	186	31.7
(3) 停滞した	278	47.4
(4) N. A.	70	12.0

(o) 農業の基盤整備

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	191	32.6
(2) 無関係	236	40.3
(3) 停滞した	101	17.2
(4) N. A.	58	9.9

(p) スポーツ・レクリエーション施設

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	326	55.6
(2) 無関係	138	23.5
(3) 停滞した	65	11.1
(4) N. A.	49	8.4
(5) N. G.	8	1.4

(q) 高等教育機関の誘致

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 進んだ	23	3.9
(2) 無関係	257	43.9
(3) 停滞した	248	42.3
(4) N. A.	58	9.9

(r) 高齢者対策

項目	人数(人)	(%)
(1) 進んだ	135	23.0
(2) 無関係	201	34.3
(3) 停滞した	201	34.3
(4) N. A.	49	8.4

4. 火山観光化についてお伺いします。

問1 島原市は火山の恵みを地域の活性化に活かすために火山観光の推進を目指しており、道の駅、土石流災害遺構保存公園、雲仙岳災害記念館、国立公園などの整備が進められようとしています。火山観光化をどう思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 賛成	362	61.8
(2) 反対	33	5.6
(3) どちらともいえない	178	30.4
(4) N. A.	12	2.0
(5) N. G.	1	0.2

問2 現在の島原の観光の魅力は、噴火前と比べてどう思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 魅力が増えた	219	37.4
(2) 変わらない	268	45.7
(3) 魅力が減った	88	15.0
(4) N. A.	11	1.9

問3 火山観光化をどう評価しますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) おおいに期待できる	39	6.7
(2) かなり期待できる	86	14.7
(3) やや期待できる	220	37.5
(4) あまり期待できない	191	32.6
(5) ほとんど期待できない	47	8.0
(6) N. A.	3	0.5

問4 島原の観光の持つイメージを教えてください。次の中から2つまでお選び下さい。

N=586人(2つまで回答)

項目	人数(人)	(%)
(1) 水と緑が豊かな保養都市	485	82.8
(2) 火山防災モデル都市(火山と共生し、復興した地域)	229	39.1
(3) 歴史文化都市	118	20.1
(4) 自然、歴史および火山がちりばめられた博物館都市	101	17.2
(5) 火山観光を中心とした交流都市	92	15.7
(6) その他	11	1.9
(7) N. A.	5	0.9
(8) N. G.	2	0.3

問5 噴火活動の沈静化に伴い、上流域の利用、開発の動きがなされると思われますが、あなたは上流域の開発についてどう思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 積極的に開発すべきである	150	25.6
(2) 必要最低限に留めるべきである	350	59.7
(3) 開発すべきではない	53	9.1
(4) N. A.	33	5.6

付問5. 1 開発に当たってどのような配慮が必要ですか。次の項目の中からいくつでもお選び下さい。

N=500人(複数回答)

項目	人数(人)	(%)
(1) 自然生態系に配慮した緑化・植栽計画	365	73.0
(2) 騒音や水質の悪化を伴う利活用はしない	184	36.8
(3) 溶岩ドームの崩壊に対するハザードマップの作成	176	35.2
(4) 緊急時の避難シェルターの設置	151	30.2
(5) 環境学習の拠点となる整備	101	20.2
(6) その他	4	0.8
(7) N. A.	22	4.4
(8) N. G.	1	0.2

5. 災害復興についてお伺いします。

問1 島原の復興を全体として見た場合、どう思われますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 順調である	114	19.5
(2) ほぼ順調である	334	57.0
(3) 少し遅れている	88	15.0
(4) 遅れている	40	6.8
(5) N. A.	10	1.7

問2 現在島原深江道路が供用中で、この道路を諫早まで伸ばし「地域高規格道路 島原諫早道路」として整備する計画があります。あなたはこの道路は必要と思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 是非必要である	308	52.6
(2) 必要である	192	32.8
(3) あまり必要でない	54	9.2
(4) 必要でない	23	3.9
(5) N. A.	9	1.5

問3 島原地域で火山と付き合っていくためには、どのようなことが重要だと思われますか。次の中からいくつでもお選び下さい。

N=586人(複数回答)

項目	人数(人)	(%)
(1) 防災施設(砂防ダム、治山ダム、河川など)の整備	380	64.8
(2) 幹線道路の整備	301	51.4
(3) 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センターの充実	213	36.3
(4) 防災センターや情報センターの設置(防災活動の拠点、学習、資材・食料・水などの備蓄など)	197	33.6
(5) 防災マップの整備	160	27.3
(6) 自主防災活動の充実	149	25.4
(7) 自然の回復など環境学習の場所の整備	147	25.1
(8) 土地利用の見直し	140	23.9
(9) 道路の代替性の確保	130	22.2
(10) 砂防指定地や防災施設の平時時の利活用	127	21.7
(11) 火山災害で被災した家屋などの災害遺構の学習体験への活用	79	13.5
(12) 地震保険への加入促進	57	9.7
(13) その他	5	0.9

(14) N. A.	11	1.9
------------	----	-----

問4 これから島原の復興で重点を置いて取り組むべきことからは何ですか。次の中からいくつでもお選び下さい。

N=586人(複数回答)

項 目	人数(人)	(%)
(1) 島原諫早道路の早期整備	421	71.8
(2) 雇用対策	317	54.1
(3) 汚水処理施設の整備(公共下水道、合併浄化槽、農村集落排水など)	238	40.6
(4) スポーツ大会・イベントの誘致(施設の利用率の向上)	237	40.4
(5) 商工業対策	211	36.0
(6) 修学旅行の誘致	193	32.9
(7) ホテル・旅館などの宿泊施設の充実	128	21.8
(8) 漁業対策	127	21.7
(9) がまだ計画による支援事業の延長	43	7.3
(10) その他	25	4.3
(11) N. A.	15	2.6

問5 安中地区の復興を図る上で、今後どのようなことが重要と思われますか。次の項目の中から3つだけお選び下さい。この質問には安中地区の回答者のみお答え下さい。安中地区以外の回答者は6.にお進み下さい。

N=88人(3つ回答)

項 目	人数(人)	(%)
(1) 緑の回復	39	44.3
(2) 安中三角地帯と北部を結ぶ生活道路の整備	27	30.7
(3) 商業施設の誘致	26	29.5
(3) 導流堤や砂防ダムなどの防災施設の利活用	26	29.5
(5) 安中三角地帯内の住宅再建の呼び掛け	22	25.0
(6) 農地の観光農園への活用	21	23.9
(7) 国道57号より上流域における深江町側と眉山側を結ぶ生活道路の整備	18	20.5
(8) 安中三角地帯内の島原鉄道の駅の新設	15	17.0
(8) 農業研修所跡や定点付近の災害メモリアルゾーンとしての整備	15	17.0
(10) ホテル・宿泊施設の建設	12	13.6
(11) 町内会の再編成	9	10.2
(12) 水産関連施設の整備	8	9.1
(13) その他	1	1.1
(14) N. A.	10	11.4

6. 災害時の避難対策についてお伺いします。

問1 平成6年6月に島原市が作成した土石流、火砕流、眉山崩壊に対する避難方法などを示した防災マップや防災ガイドラインを配布しました。あなたはこれを見たことがありますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) ある	400	68.2
(2) ない	151	25.8
(3) N. A.	35	6.0

付問1. 1 防災マップは今どのようにしていますか。

N=400人

項目	人数(人)	(%)
(1) 家の中のわかりやすい所に貼ってある	53	13.3
(2) 家の中に保管している	185	46.3
(3) 紛失もしくは今はどこにあるかわからない	154	38.5
(4) その他	5	1.2
(5) N. A.	3	0.7

問2 あなたがお住いの町内会で避難訓練が行なわれたことがありますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) ある	177	30.2
(2) ない	279	47.6
(3) わからない	96	16.4
(4) N. A.	34	5.8

付問2. 1 あなたは避難訓練には参加したことがありますか。

N=177人

項目	人数(人)	(%)
(1) ある	117	66.1
(2) ない	60	33.9
(3) N. A.	0	0.0

問3 あなたの地区は土石流が発生したときの避難対象地区に含まれていますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) はい	93	15.9
(2) いいえ	360	61.4
(3) わからない	110	18.8
(4) N. A.	23	3.9

付問 3. 1 あなたの地区の避難所を知っていますか。

N=93 人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) はい	78	83.9
(2) いいえ	12	12.9
(3) N. A.	3	3.2

問 4 あなたの地区は眉山に異常が認められたときの避難対象地域に含まれていますか。

N=586 人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) はい	194	33.1
(2) いいえ	179	30.5
(3) わからない	191	32.6
(4) N. A.	22	3.8

付問 4. 1 眉山崩壊に備えた避難をする場合の 1 次避難所を知っていますか。

N=194 人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) はい	148	76.3
(2) いいえ	38	19.6
(3) N. A.	8	4.1

問 5 あなたはこれから土石流の発生や眉山の崩壊に備えて避難をすることがあると思いますか。

N=586 人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 確実にあるだろう	22	3.8
(2) 十分考えられる	239	40.8
(3) 多分ないだろう	278	47.4
(4) 全くないだろう	34	5.8
(5) N. A.	13	2.2

問 6 あなたのお宅では噴火災害について家庭内で話し合うことがありますか。

N=586 人

項 目	人数 (人)	(%)
(1) 良く話す	44	7.5
(2) 時々話す	240	41.0
(3) ほとんど話さない	285	48.6
(4) N. A.	17	2.9

7. 防災都市づくりについてお伺いします。

問1 雲仙普賢岳の噴火は、平成7年5月には火山噴火予知連絡会によって終息が確認されています。あなたは噴火は今後どのようになると思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 終息したと思う	197	33.6
(2) 終息したと思うが、もう1, 2年様子を見ないとわからない	131	22.4
(3) 終息したと思わない	93	15.9
(4) 全く見当がつかない	146	24.9
(5) N. A. & N. G.	19	3.2

問2 島原市において今後心配される災害は何ですか。次の項目の中からいくつでもお選び下さい。

N=586人(複数回答)

項目	人数(人)	(%)
(1) 眉山の山体崩壊	267	45.6
(2) 雲仙普賢岳の溶岩ドームの崩壊	263	44.9
(3) 高潮・豪雨などによる低地の浸水	222	37.9
(4) 眉山第六溪の土石流	208	35.5
(5) 台風による風害	197	33.6
(6) 水無川・中尾川の土石流	194	33.1
(7) 地震による市街地火災	105	17.9
(8) 雲仙普賢岳の火砕流	95	16.2
(9) 地震による津波	83	14.2
(10) 特に心配なことがらはない	29	4.9
(11) その他	3	0.5
(12) N. A.	25	4.3

問3 あなたは雲仙普賢岳の火砕流はまだ発生すると思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 確実に発生するだろう	18	3.1
(2) 十分考えられる	228	38.9
(3) 多分発生しないだろう	305	52.0
(4) 二度と発生しないだろう	10	1.7
(5) N. A.	25	4.3

問4 あなたは水無川や中尾川の土石流は今後も発生すると思いますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 確実に発生するだろう	37	6.3
(2) 十分考えられる	340	58.0
(3) 多分発生しないだろう	185	31.6
(4) 二度と発生しないだろう	5	0.9
(5) N. A.	19	3.2

付問4. 1 土石流の規模はどの程度になると思いますか。

N=377人

項目	人数(人)	(%)
(1) 現在の導流堤、遊砂地、砂防ダムおよび水無川などの防災施設を越えるような土石流となるだろう	39	10.3
(2) 導流堤、遊砂地、砂防ダムおよび水無川・中尾川などに納まる土石流となるだろう	246	65.3
(3) 上流域の遊砂地などに捕捉される程度の土石流となるだろう	71	18.8
(4) その他	12	3.2
(5) N. A.	8	2.1

付問4. 2 土石流の発生のおそれが少ないと思う理由は何ですか。

N=190人

項目	人数(人)	(%)
(1) 遊砂地、導流堤、河川改修、砂防ダムなどの防災工事が進んで、安全が確保されたから	118	62.1
(2) 上流部に緑が回復して土砂の流出が押えられたから	8	4.2
(3) 火砕流が発生せず、火山灰が地表面に少なくなり、流出の割合が減ったから	33	17.4
(4) 砂防ダム群が完成するまでに、諫早水害や長崎豪雨並みの雨は降らないだろうから	2	1.0
(5) その他	3	1.6
(6) N. A.	10	5.3
(7) N. G.	16	8.4

問5 あなたは砂防ダム群を今後どのように建設すべきとお考えですか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 基本どおりに建設する	237	40.5
(2) 堆積土砂量が増えているので、規模をさらに大きくする	53	9.0
(3) 噴火が終息したので、測量や地質調査を行なって基本構想を見直す	210	35.8
(4) 土石流が出なくなったので規模を小さくする	41	7.0
(5) その他	12	2.1
(6) N. A.	27	4.6
(7) N. G.	6	1.0

問6 災害時に近隣の協力を行なうために、島原市には自主防災組織が全町内会に結成されていますが、自主防災組織があなたの町内会に結成されていることを知っていますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) はい	300	51.2
(2) いいえ	254	43.3
(3) N. A.	32	5.5

付問6. 1 あなたの地区の自主防災組織は災害時に有効と思いますか。

N=300人

項目	人数(人)	(%)
(1) かなり有効である	60	20.0
(2) 多少有効である	143	47.7
(3) 有効でない	51	17.0
(4) わからない	42	14.0
(5) N. A.	4	1.3

付問6. 2 有効でないとする理由は何ですか。

N=51人

項目	人数(人)	(%)
(1) 自主防災組織の結成が形式的に結成されており、活動計画がないから	33	64.7
(2) 地域住民の参加が期待できないから	7	13.7
(3) 市役所、消防団、警察署などとの連携がなされていないから	1	2.0
(4) 災害時の情報が入手できないから	2	3.9
(5) その他	1	2.0
(6) N. A.	1	2.0
(7) N. G.	6	11.7

付問 6. 3 あなたの地区の自主防災組織ではどのような活動が行なわれていますか。次の項目の中からいくつでもお選び下さい。

N=300人（複数回答）

項 目	人数（人）	（%）
(1) 自主防災組織の役員会の開催および役割分担	94	31.3
(2) 緊急避難場所の指定、周知	86	28.7
(3) 市役所、消防署などが主催する防災講演会、研修会への参加	75	25.0
(4) 自主防災組織の自主的な活動としての消火訓練や避難誘導訓練などの防災訓練の実施	73	24.3
(5) 組織に必要な防災資材の備蓄および維持管理	70	23.3
(5) 自主防災組織として特に活動していない	69	23.0
(7) 河川や側溝の清掃	62	20.7
(8) 地区内の危険箇所の点検	59	19.7
(9) 関係消防団などとの話し合い	38	12.7
(10) 大雨の時の川の水位の監視	37	12.3
(11) 高齢者などの災害弱者名簿の作成	31	10.3
(12) 他の自主防災組織との防災に関する交流	17	5.7
(13) 地区内の独自の防災マップ、防災パンフレットの作成	13	4.3
(14) 地区内の看護婦経験者などの専門家人材リストの作成	6	2.0
(15) 防災に関する映画会、スライド会などの自主的開催	3	1.0
(16) その他	5	1.7
(17) 知らない	24	8.0
(18) N. A.	25	8.3

付問 6. 4 あなたの地区の自主防災組織では、地区内の災害弱者（歩行困難者や高齢者）に対する避難援助の対策がありますか。

N=300人

項 目	人数（人）	（%）
(1) ある	34	11.3
(2) ない	87	29.0
(3) わからない	135	45.0
(4) N. A.	44	14.7

8. 砂防指定地の利活用についてお伺いします。雲仙における砂防指定地の有効な利活用のあり方や方向性がまとめられ、その後整備が進められています。現在のところ、水無川流域では「ふるさとの森」、「われん川の整備」、「農業研修所跡の保存」、「旧深江町立大野木場小学校被災校舎の現地保存」などが実現もしくは実現しつつあります。中尾川流域では、「卒業の森」、「昆虫の森」および「観察の森による植生復元の観察活動」が受け入れられています。

問1 現在の砂防指定地の管理者は次のどこだと思われますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 国土交通省(雲仙復興工事事務所)	395	67.4
(2) 長崎県	78	13.3
(3) 島原市・深江町(市町村)	56	9.6
(4) その他	3	0.5
(5) N. A.	41	7.0
(6) N. G.	13	2.2

問2 砂防指定地の利活用の主体には次のどれがなれると思いますか。次の中からいくつでもお選び下さい。

N=586人(複数回答)

項目	人数(人)	(%)
(1) 市町村	459	78.3
(2) 町内会	110	18.8
(3) ボランティア	65	11.1
(4) NPO(民間非営利団体)	72	12.3
(5) 一般企業	34	5.8
(6) 個人	19	3.2
(7) 制限はない	84	14.3
(8) N. A.	52	8.9

問3 砂防指定地の利活用にあたっては制限や条件があることを知っていますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 良く知っている	19	3.3
(2) だいたい知っている	85	14.5
(3) 良く知らない	453	77.3
(4) N. A.	29	4.9

9. あなたご自身についてお伺いします。

問1 性別をお教え下さい。

N=586人

項 目	人数(人)	(%)
(1) 男	274	46.8
(2) 女	312	53.2

問2 年齢をお教え下さい。

N=586人

項 目	人数(人)	(%)
(1) 20歳代	35	6.0
(2) 30歳代	56	9.6
(3) 40歳代	111	18.9
(4) 50歳代	123	21.0
(5) 60歳代	135	23.0
(6) 70歳代以上	126	21.5

問3 あなたの住んでいる地区をお教えてください。

N=586人

項 目	人数(人)	(%)
(1) 三会地区	68	11.6
(2) 杉谷地区	60	10.2
(3) 森岳地区	127	21.7
(4) 壺丘地区	113	19.3
(5) 白山地区	128	21.8
(6) 安中地区	90	15.4

問4 あなたの職業をお教えてください。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 農林業	20	3.4
(2) 漁業	8	1.4
(3) 自営工業	9	1.5
(4) 自営商業	56	9.6
(5) 公務員	38	6.5
(6) 会社員	118	20.1
(7) 専門職・自由業	32	5.5
(8) 家庭婦人	102	17.4
(9) 学生	4	0.7
(10) 無職	145	24.7
(11) その他	29	5.0
(12) N. A.	25	4.2

問5 あなたは島原市にお住まいになって何年になりますか。

N=586人

項目	人数(人)	(%)
(1) 1年未満	8	1.4
(2) 1年以上5年未満	35	6.0
(3) 5年以上10年未満	23	3.9
(4) 10年以上15年未満	21	3.6
(5) 15年以上20年未満	29	4.9
(6) 20年以上	447	76.3
(7) N. A.	23	3.9